

期待される効果

1. 全国に広がる同性愛者等の集まる商業施設等を活用することにより、これまで介入が未実施であった地域において、都市の規模や地域を選ぶことなく効率的に実施可能な普遍的なプログラムの開発をおこなう
 - ⇒プログラム参加者の性的ネットワークを通じた地域への普及をはかる
 - ⇒介入未実施地域を含めた個別施策層対策への貢献
2. NGO－行政連携のモデル化
 - ⇒本研究で開発を行ったプログラムを普及させるにあたり、自治体の特性にあった連携モデルを選択可能にする

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌・書籍名	巻号	出版年	ページ
大石敏寛	札幌・東京近郊および松山における男性同性愛者等のリスク要因調査と啓発介入の試み；リスク・アセスメント調査の分析結果	エイズ対策情報交換	11(4)	2003	1-8
大石敏寛	札幌・東京近郊および松山における男性同性愛者等のリスク要因調査と啓発介入の試み(第2報)；HIV/STD 予防啓発手法への反映	エイズ対策情報交換	11(5)	2003	3-27
大石敏寛	札幌・東京近郊および松山における男性同性愛者等のリスク要因調査と啓発介入の試み(第3報)；HIV/STD 予防啓発介入のプログラム評価	エイズ対策情報交換	11(6)	2003	2-18
Takashi KAZAMA, Kazuya KAWAGUCHI	“HIV Risk and the (Im)permeability of the Male Body: Representations and Realities of Gay men in Japan” Roberson, James and Suzuki, Nobue ed.	Men and Masculinities in Contemporary Japan, Routledge Curzon		2003	180-197
風間孝	介入の場としてのゲイ・ポルノグラフィ	女性学(日本女性学会)	Vol. 10	2003	8-29
風間孝	生—権力と死——エイズの時代における男性同性愛者の表象をめぐって	解放社会学研究(日本解放社会学学会)	17	2003	33-58

平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業

**同性愛者等の HIV 感染リスク要因に基づく
予防介入プログラムの開発及び効果に関する研究**

平成 16 (2004) 年 3 月 31 日 発行

主任研究者 大石 敏寛

特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンのかい

164-0012 東京都中野区本町 6-12-11 石川ビル 2F

TEL: 03-3383-5556 FAX: 03-3229-7880

E-mail: occur@kt.rim.or.jp URL: <http://www.occur.or.jp>

厳禁無断複製転載© 特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンのかい